

フレンズのついで Part. 17 世界の音楽と魅惑のタンゴ

— 大好評で幕を閉じる —

7月22日午後5時から、文化の家森のホールで、フレンズのついで Part. 17 「世界の音楽と魅惑のタンゴ」が行われました。

会場前のホワイエでは、初参加を含めて30余名のスタッフが、担当ごとにミーティングを行いました。オープニングは「ブラボー・ムツシュ・ルモンド」のダンスで幕を開け、大勢のお客様が2年前の愛知万博を懐かしく思い出されたことでしょう。

フランス、イタリア、ドイツ、ポルトガル、素晴らしい歌声が会場をヨーロッパの旅へと誘(いざな)っていきます。

「死ぬほど良かった」

楽しいトークを交えての加藤修滋さん弾き語りの「百万本のバラ」は素晴らしく、ご自分の人生と重ね合わせて、うっとり聞き惚れておられる方もいたよ

写真上は舞台上に出演者が勢ぞろいした場面、写真下は終演後の出演者とフレンズスタッフとの交流会の様子です



うです。

第1部は会場全体で「見上げてごらん夜の星を」を合唱して幕を閉じました。

第2部は大久保ナオミさんのヴァイオリン・ソロが客席を流して歩き、しつとりと心に染みる音色で開演です。

ブラジル、アメリカ、メキシコ、アルゼンチン…と軽快なリズムに歌とダンスのコラボレーションも最高潮を迎え、イタリア村で活躍中のセルヒオ・ビジャロエルさんの「想いの届く日」は音量溢れる歌声で会場を魅了しました。

アンコール曲の「花祭り」を出演者全員でにぎやかに歌い、会場の暖かい拍手に包まれて、今回のフレンズのついで Part. 17は盛況のうちに終演を迎えました。

参加者の声から

- ♪死ぬほど良かった。とても感動しました。(60才代)
- ♪ステキな舞台でした。出演者の歌唱力に圧倒されました。ぜひまた聴きたいです。
- ♪毎年お願いします。文化の家もすばらしく、非常に良い企画だと思えます。
- ♪弾き語りの加藤さんの百万本のバラは、ストーリー性、感情の豊かさ、すばらしい歌唱でした。
- ♪生演奏のすばらしさを満喫しました。

「死ぬほど良かった」は、ピアノ弾き語りの加藤修滋さんが「すごく良いと思ったら死ぬほど良かった」と、トークの中で語られた言葉が活かされたコメントです。

アートツボランティアの充実を目指し アートツボランティア

フォーラムに参加して

7月1日、可児市文化創造センターで「元気になろう！アートツボランティアフォーラム2007」が開催され、長久手町文化の家フレンズから水野会長、山口事務局長、岩瀬広報担当の3名が参加しました。フォーラムは、各地の公共文

化施設で活動するアートツボランティア団体の現状や課題などを話し合い、また平成18年度からの指定管理者制度導入によって、公共文化施設をとりまく状況が変化しつつある現在、アートツボランティアのあり方をあらためて学ぶ目的で開催されたものです。

名清水教授の基調講演ではじまる

まず、名古屋大学の清水裕之教授が「ホールボランティアのこれから・これから」と題して「ホールボランティア成立の背景と到達点」「ホールボラ

ンティアの意味をいま一度問う」「パブリックシアターはなぜ必要か」「パブリックシアターを支える運営意識とシアターの条件」などを主な内容とした基調講演をされました。

参加者による交流会議

その後、参加者がグループに分かれて「ボランティア活動に参加する会員の意識について」「文化ボランティアに市民がなにを望むか」「ボランティアと施設側の関係」の三つをテーマに交流会議を行い、それぞれが直面している課題などについて活発に議論しました。

フレンズからも発言

長久手町文化の家フレンズの水野会長は、フレンズの平成18年度の活動実績をもとに「フレンズ(友)の会の運営」「ホールボランティアの活動状況」「年2回の自主企画事業の実施」「各種の研修活動」などについて報告をしました。

さらにフレンズから、交流会議の三つのテーマのうち「ボランティアと施設側との関係」に関連して、施設の運営にあたる

長久手町文化の家フレンズの活動などについて発表する水野会長



側とフレンズが、アートツボランティアについての基本的な認識を共有すること、両者の意思疎通をいっそう深めることの重要性を指摘しました。

フォーラムで感じたこと

このフォーラムに参加して、まず長久手町文化の家フレンズが、発足以来9年の経験を積んで、安定した活動を順調に続けていくということを実感しました。長久手町文化の家は、県内でもまれな充実した文化事業を進めています。その一端を「フレンズ」がホールボランティアなどの活動を通して支えてきました。この9年間の経験と実績は今後に向けての大切な財産だと思いました。また会議の中で、公共文化施設

会員登録には便利でお得な自動払込みのご利用を！

フレンズ会員登録の入会および更新には ①文化の家事務局で会費を添えて申し込む ②郵便振り込みを利用 ③郵便貯金から自動払込み という三つの方法があります。③の郵便貯金からの自動払込みは、一度手続きいただくと、郵便貯金の口座から自動的に会費が払込まれ、毎年の更新手続きの手間を省くことができます。さらに平成20年度から、自動払込みの会員は、年会費1500円を1300円に割り引く特典を設けました。

(ただし払込み手数料25円は、ご本人負担でお願いします)

詳しくは後日ご案内します。この機会にぜひ手続きをお勧めします。

設の曲がり角といわれる時代を迎え「アートツボランティア団体が施設運営にどう関わるか」を提起する発言もありました。こうした議論を通して、アートツボランティアのあり方をあらためて学びなおす必要を強く感じながら会場を後にしました。

文責 岩瀬信廣

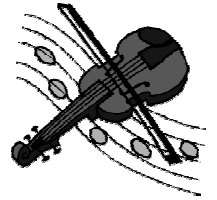


7月1日可児市文化創造センターで開かれたアートツボランティアフォーラムの会場風景



フレンズのつどい Part. 18

クリスマスコンサート&パーティー



— 弦の音色に歌をのせて —

ソプラノと弦楽四重奏のときめきのコラボレーション。若きアーティストたちの力強くも美しい音色に感動されることでしょう。歌曲からおなじみの曲まで、クリスマスのひとときをお楽しみください。

コンサートの後には、出演者を囲んで楽しいティーパーティーをご用意しています。

出演者



原田美奈 (ソプラノ)



ACO弦楽四重奏団の皆さん

左から 平光真彌 (第1バイオリン) ⇒ 新谷 歌 (第2バイオリン)
小松 大 (ビオラ) ⇒ 山際奈津香 (チェロ)

日時 12月16日(日) 午後2時開演
場所 長久手町文化の家 舞踊室
入場料 会員 1200円(本人のみ) チケット発売 会員 10月6日(土)から
一般 1500円 一般 10月13日(土)から

平光真彌さん(第1バイオリン)より フレンズの皆さんへメッセージ

フレンズの皆さん、こんにちは。12月のクリスマスパーティーでははじめの約1時間、ソプラノの歌と弦楽器のコンサートをお楽しみいただきます。普段、ピアノ伴奏で歌う歌手が弦楽器の伴奏だと、はたしてどのような雰囲気になるのか?そして、歌曲の旋律を使って弦楽器だけの曲にすると、どのような曲が生まれるのか?そのほか映画音楽や歌謡曲など、普段皆さんが口ずさむような曲もお聴きいただこうと思います。皆さんと楽しいひとときを、ともに送ることができたらと楽しみにしています。ぜひ足をお運びください。お持ちしております。



まわってつなごう、アートとハート!

ながくてアートフェスティバル

平成19年11月1日(木)~11月11日(日)

町内には多くの美術家・工芸家が在住し、アトリエ、ギャラリーが点在しています。地域特性を活かし、アーティストと住民の交流を深めながら、アートによる感性豊かな町づくりをめざすフェスティバルです。

- ① 長久手の里美術展2007
長久手美術作家の会による作品展
- ② アトリエ開放
普段見ることのできない作家のアトリエを公開
- ③ 各ギャラリーで企画展 開催!
ながくてアートフェスティバル協賛ギャラリーで企画展開催
- ④ 親も子も1日アーティスト 開催!
香流川遊歩道で絵画大会をおこないます
- ⑤ プロジェクトつぶて
子どもたちが拾い集めた石ころで大きな石曼荼羅を作るワークショップです
- ⑥ 美術講座「美楽入門~ビジュアルアートをもっと身近に~」
講師: 木本文平(愛知県美術館副館長)

※ 詳しくは、ながくてアートフェスティバル実行委員事務局(長久手町文化の家内)にお問合せ下さい。

TEL 0561-61-3411 FAX 0561-61-2510

10月から12月の主な催し物をご紹介します
詳しくは「文化の家」のパンフレットなどをご参照ください

長久手現幻曼荼羅展 今井紀彰(写真家)

日時: 10月3日(水)から10月14日(日)まで
午前10時~午後7時(最終日は午後5時)
9日(火)は休館
場所: 展示室 入場料: 無料
長久手を取材し、それを題材とした写真をもとに
曼荼羅を展示します。

宮川彬良&アンサンブル・ベガ 旅のゆめ~おながくの旅!

日時: 10月20日(土) 午後6時開演
場所: 森のホール
出演: 宮川彬良、アンサンブル・ベガ



好評発売中!

前売 一般 3000円
フレズ 2700円
学生 1500円
当日 一般・フレズ 3500円
学生 2000円

全指定席

長久手オペラVol. 17

レハール作曲 オペレッタ

ほほえみの国

原語と日本語による上演/ハイライト版/
レクチャー付

演出・お話 大下くみこ
日時: 11月11日(日)午後3時開演
場所: 森のホール

好評発売中!

前売 一般 2000円
フレズ 1500円
学生 1000円
当日 一般・フレズ 2500円
学生 1500円

全自由席

編集者コラム

この夏は猛暑日が続いたが、9月に入って爽やかな風が心地良い。さあ自転車の出番だ。香流川沿いに東に、西に。気がつくとな名古屋市を走っている…。

在住30年になるが、新発見ばかりでとても楽しい。

(ま)

南河内万歳一座 「大胸騒ぎ」

作・演出 内藤裕敬
出演: 鴨鈴女 三浦隆志 重定礼子 内藤裕敬 ほか
日時: 11月24日(土) 午後2時開演
場所: 風のホール
チケット発売日 10月7日(日)から
前売 一般 3000円
フレズ 2800円
当日 一般・フレズ 3500円
学生(劇団のみ取り扱い) 2800円
劇団のHP <http://www.banzai1za.jp>

劇団銅鑼公演 流星ワゴン

原作: 重松清 脚色: 青木豪 演出: 磯村純
出演: 館野元彦 久保田勝彦 馬淵真希 三田直門 ほか
日時: 12月12日(水) 午後7時開演
12月13日(木) 午後2時開演
場所: 風のホール
好評発売中!
前売 一般 3500円 フレズ 3200円
高校生以下 2000円
当日は +500円

世界の音楽と 魅惑のタンゴ

ほっと
すぺーす

熊張在住 稲葉佳子

ここ数年タンゴブームで、私もつい6月愛知芸術文化センターで催された「オスバルド・ペリンジェリ楽団」の演奏を聴きに行き、本場のアルゼンチンタンゴとダンスに魅了されました。
今回、文化の家でもフレズズのつどい Part. 17が「タンゴ」。ますます身近に感じられるチャンスと、2年ぶりにつどいに参加しました。
出演者 E L M I a E L M はタンゴを中心に幅広い音楽を演奏し、歌あり、トークありと楽しいステージでした。このメンバーは愛知万博に出演し、多くの人々に知られている存在。以後、万博関連催事にも積極的に活動しているグループだそうで、

ここ長久手町文化の家で演奏会の開催も、メンバーの皆さんにとつてさぞ感慨深いことだったと思います。
恒例のフレズズスタッフと出演者との交流会にも参加し、ステージでは見られない出演者の素顔や話に触れることができ、これまた楽しいひとときでした。ダンスの男性半田さんはステージではキリリとステキでしたが、私たちの前に現れた彼はなんと童顔の可愛い男性(ああおばさんだ!)でした。そしてアルゼンチン出身の歌手セルヒオ氏はカッコいい男性で、そのうち彼のライブを聴きに行こうと思っています。
まだ話し足りなさを感じながら、企画や運営に尽力したスタッフの労をねぎらって交流会を閉じました。